

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 27-1-069
補助事業名 平成27年度
 難病及び希少難病に関する研究機器（医療機器）の整備補助事業
補助事業者名 日本赤十字社

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

「背景と目的」厚労省：特発性大腿骨頭壊死症（以下ION）研究班によると、IONのに対する人工股関節置換術（以下THA）の術後脱臼は6.0%で、変形股関節症（以下OA）に対するTHAの数倍の高率となっている。再手術を要する臨床的破綻の原因のトップも術後脱臼であり、最大の問題となっている。ION患者の平均年齢が51歳で男性が54%で、OAに対するTHA患者（平均年齢が60で8～9割が女性）と比べ平均年齢が低く働き盛りの方が多い。IONに対するTHAの最大の問題である術後脱臼を解決することは、ION患者さんにとっても、社会的にも意義が大きい。「方法」THAの術後脱臼の最も主要な原因は部品（ソケットと人工大腿骨頭）の不正確な設置である。今回、THA用ナビゲーションシステム（以下NS）を導入することで、部品をより正確に設置し、術後脱臼を予防することを目指す。倫理委員会の承認を得て実施する。当院でこれまでにNSを用いずに行ったTHA330例を対照として比較検討する。術後のレントゲン像で、ソケットの外開き角（外転角）と前開き角（前捻角）を計測し比較する。術後CTを撮影し、ソケットの外開き角と前開き角と、人工大腿骨頭の前開き角を計測する。それらの計測値を、NS非使用群と使用群間で比較し、NS使用による部品設置の精度向上効果を検討する。また、術後半年、1年、その後1年ごとの時点までの脱臼率を両群間で比較する。「期待される結果と意義」NSを用いることでTHAの部品をより正確に設置でき、術後脱臼を予防できると期待される。そうなれば、IONに対するTHAの最大の問題である術後脱臼が解決され、比較的年齢が低く働き盛りの患者さんが多いIONに対するTHAの最重要問題が解決されることとなり、ION患者さんにとっても、社会的にも意義が大きい。

(2) 実施内容

本事業で人工股関節置換術（THA）用のナビゲーションシステム（NS）を整備するが、NSに対応できる高解像度CTがある。THAは毎週数例行っており、これまでにNS非使用で行ったTHA330例を対照として比較検討する。外部委員も含む倫理審査委員会があり、その承認を得て実施する。当院整形外科部長は厚労省：ION研究班の班員でもあり、本事業の結果を班で検討確認し、ION診療のガイドラインにも盛り込むことで、NS使用によるIONに対するTHAの脱臼予防を全国的に普及させることも期待できる。9/1の上記システ

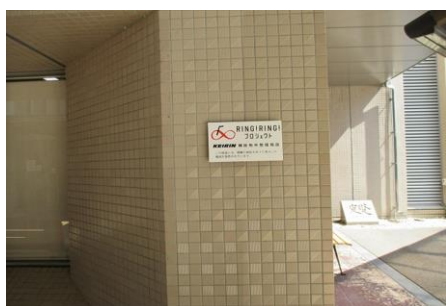
(別紙5)

ム導入以来、10/20現在まで11名の患者さんの人工股関節置換術に使用し、①人工関節部品の正確な設置(当初の目的)、②股関節周囲筋腱切離が少なくなったことによるリハビリテーション期間の短縮、③臼蓋骨移植のドリリング時に骨盤内大血管を損傷するリスクの回避、の3点の成果を得ている。今後、この3点の効果をさらに多くの患者さんで確認できると期待している。

CTベースドヒップナビゲーションシステム

(<http://www.suwa.jrc.or.jp/0300011.html&id=1343>)

〈車両、機器の写真を貼ってください〉



諏訪赤十字病院入口



CTベースドヒップナビゲーションシステム一式

2 予想される事業実施効果

9/1の上記システム導入以来、10/20現在まで11名の患者さんの人工股関節置換術に使用し、①人工関節部品の正確な設置(当初の目的)、②股関節周囲筋腱切離が少なくなったことによるリハビリテーション期間の短縮、③臼蓋骨移植のドリリング時に骨盤内大血管を損傷するリスクの回避、の3点の効果をさらに多くの患者さんで確認できると期待している。

(別紙5)

3 印刷物等

本事業に係る印刷物等

諏訪赤十字病院ホームページ(<http://www.suwa.jrc.or.jp/0300011.html&id=1343>)

長野日報新聞

諏訪市民新聞

” (グループ新聞)

医療タイムス

タイムスFAX

信濃毎日新聞

日本赤十字社本社ホームページ(11月中に掲載予定)

赤十字新聞(12月号に掲載予定)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 日本赤十字社(ニッポンセキジュウジシャ)

住 所： 〒105-8521

東京都港区芝大門1丁目1番3号

代 表 者： 社長 近衛 忠輝(コノエ タダテル)

担 当 部 署： 総務局 総務部 契約・管財課(ソウムキョク ソウムブ ケイヤク・カンザイカ)

担 当 者 名： 主事 竹村 俊朗(タケムラ トシロウ)

電 話 番 号： 03-3437-7076

F A X： 03-3433-8525

E - m a i l： kanzai@jrc.or.jp

U R L： <http://www.jrc.or.jp/>